

製品安全データシート

1 製品及び会社情報

製品の名称 : マゴクリーン NU1

会社名 : 株式会社 アイエス

住所 : 京都府京都市右京区嵯峨大覚寺門前堂ノ前町23-4

電話番号 : 075-861-3770

FAX番号 : 075-861-3734

2 組織,成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物 (水和物)

化学名 : 蛋白分解酵素を含む水溶液

化学式又は構造 :

成分名 : ポリプロピレングリコール・非イオン界面活性剤・
金属イオン封鎖剤・IPA
蛋白分解酵素・酵素安定剤 (開示せず)

化学物質管理促進法 : 非該当

安衛法通知対象物 : 非該当

毒物劇物年取締法 : 非該当

3 危険有害性の分類

最重要危険有害性

人に対する有害な影響 : 蛋白質を分解する作用があり、付着したものを完全に除かない限り、次第に組織の深部に及ぶおそれがある。特に目に入ると視力の低下や失明をすることがある。

: 繰り返し接触していると皮膚表面の種々の組織を侵し、直接刺激性の皮膚炎又は慢性湿疹の症状がある

: 誤って飲み込んだときは、口腔、喉、食堂、胃などに炎症を起こす。

物理的及び化学的危険性 : データなし。

特定の危険有害性 : データなし。

4 応急処置

眼に入った場合 : 直ちに多量の水道水 (流水) で15分間以上洗眼 (まぶたの隅々まで) し速やかに眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに付着した又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴は速やかに脱がせる。速やかに医師の手当てを受ける。

吸入した場合 : 吸入等により異常を感じたら、直ちに作業を中止し、症状に応じて医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 口を多量の水ですすぎ、卵白を混ぜたミルク・オリーブ油を飲ませ、医師の手当てを受ける。意識があっても無理に吐かせてはならない。

5 火災時の処置

- 消火方法 : この製品自体は熱焼しない
: 適切な保護具を着用し、風上より消火作業を行う。一般には水噴霧で消火する。
- 消火剤 : 水噴霧・粉末・砂・二酸化炭素

6 漏出時の処置

- 人に対する注意事項 : 作業の際には、保護具（メガネ、ゴム手袋、長靴等）を着用し、飛沫等が眼、皮膚や衣類に付着しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
- 除去方法 : モップなどで拭き取るか、低圧水で洗い流す。
: 高圧水での洗浄は飛沫を飛散させるので行ってはならない。
- 中和 : 弱アルカリ性の製品なので、大量の水で中和する。

7 取り扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 保護具を着用し、飛沫等が眼、皮膚や衣類に付着しないように慎重に取り扱う。
- 注意事項 : 漏れや、飛散を防ぐ為に、取り扱い都度、容器を蜜閉する。
- 安全取扱い事項 : 容器を転倒、落下させる等、衝撃を加える乱暴な取扱いをしてはいけない。
- 保管
- 保管条件 : 直射日光を避け、異物が混入しないよう密封して保管。

8 暴露防止及び保護処置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容対策 : 設定されていない。
- 保護具 : 安全メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴等

9 物理的及び化学的性質

- 外 観 : 微茶液状
- 臭 気 : 微臭気
- 凝固点 (°C) : < 0
- PH (原液) : 7, 4
- 揮発性 : なし
- 水溶解度 : 可溶

10 安全性及び反応性

- 引火点 (°C) : 該当せず (不燃物)
- 安全性 : 通常の手取り扱い条件においては安定。
- 反応性 : データなし。
- 避けるべき材料 : データなし。
- 危険有害な分解生成物 : データなし

1 1 有害性情報

刺激性
眼 : 腐食性物質

皮膚 : 腐食性物質

急性毒性 : データなし

1 2 環境影響情報

分解性 : データなし
: 水生生物にとって有害である。

1 3 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 法定廃棄物処理業者に処理を委託する。
少量の場合は、薄い酸で除々に中和し、多量の水で希釈して排水溝に流す。

1 4 運送上の注意

運送の特定の安全
対策及び条件 : 運搬に際して容器から漏れないことを確かめ、転倒
落下、損傷がないよう積み落下、損傷がないよう積み
込み、荷くずれの防止を確実に行う。

1 5 適用法令

化学的物質管理促進法 : 該当せず

安衛法通知対象物 : 該当せず

毒物及び劇物取締法 : 該当せず

消防法 : 該当せず

船舶安全法 : 該当せず

航空法関する法律 : 該当せず

1 6 その他の情報

引用文献 : STN オンライン情報

※ ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。本品の適性に関する決定は使用者の責任において行って下さい。